

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.10.08－10.19

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

10月9日(火)
碌々産業、东莞にサービス拠点
スマホ加工機向けノ南部を強化

碌々産業は、东莞市に工作機械のサービス拠点を2013年に新設する。中国南部の顧客対応を強化するのが狙い。スマートフォン関連の金型や治具加工に使う微細加工機の受注が増えている。(5面)

蝶理、車シート織物を海外調達
中国・タイなどノ月100万m
蝶理は、海外からカーシート用織物を調達する。これまで国内のみだったが、中国、タイ、インドネシア、米国、メキシコに調達先を確保。2014年度に供給量を約5倍の月100万mに。(10面)

10月10日(水)
中国の建機見本市に不参加
コマツ・日立建機・コベルコ建機
上海市での世界3大建設機械見本市「パウマ・チャイナ」にコマツ、日立建機、コベルコ建機の日本大手3社が出展見送り。コマツは尖閣問題の前から。日立建機とコベルコ建機がキャンセル。(1面)

日系自動車、大規模減産
トヨタ・ホンダ半減ノ10月
日系自動車メーカーが中国で大規模な減産に入った。トヨタ自動車やホンダは10月は半減する。日本車の買い控えが広がり、各社とも生産調整する。長引けば戦略の見直しも。(6面)

尖閣問題の日系車メーカーへの影響		
社名	9月の販売	生産対応
トヨタ	4万4100台 (¥48.9)	10月の生産を計画比半減
日産	7万6100台 (¥35.3)	販売状況に合わせ生産調整
ホンダ	3万3931台 (¥41.5)	販売状況に合わせ生産調整
スズキ	1万6020台 (¥42.5)	8日から通常稼働
マツダ	1万3258台 (¥34.6)	販売状況に合わせ生産調整
三菱自	2340台 (¥63.0)	現時点では通常稼働を予定
富士重	1857台 (¥64.5)	日本からの輸出減の可能性も検討
注：カッコ内は前年同月比増減率%、¥はマイナ		

ASIA

ミャンマー外国投資法の主な内容		
旧法	新法(ドラフト)	
土地の利用権		
外国資本は政府からのみ土地のリースを受けられる。民間の土地はリース禁止	民間の土地もリース可能。土地利用権の転賃も可能	
株式の譲渡		
言及なし	ミャンマーに設立された法人の株式を他の外国法人・個人に譲渡できる	
法人税の免税期間		
3年	5年	
外国資本比率		
言及なし	100%国内資本が実行できない多額で、高度技術を要する投資。35～50%上記以外の投資	
出典：KPMGバンコク		

10月8日(月)
ミャンマー、変わる投資環境
内閣に経済通多用ノ改革進める
ミャンマーの投資環境が一段と変わり始めた。改正外国投資法が年内にも成る。内閣改組で経済通を多用し改革を進める。半面、進出ラッシュでホテルやオフィスの値上がり。(時流読流＝3面)

宇部興産、タイヤ用ゴムを増産
年12万5000トンノ新興国向け
宇部興産は、千葉石油化学工場で自動車タイヤ側面のサイドウォールに使う合成ゴムの生産を拡大する。年産能力12万5000トン。タイヤ大手が進める新興国での生産増強に対応。(1面)

T D F、インドネシアに合併
車部品ノ鍛造品換算年1万トン
T D Fは、インドネシアで自動車部品工業などとの合併で新会社を12月に設立する。鍛造品・鍛造品の機械加工部品と組み立て部品を生産する計画で、生産能力は鍛造品換算で年1万トン。(6面)

10月9日(火)
テルモ、ベトナムに工場
血液バッグ・成分採血キット
テルモは、ベトナムのホーチミン市近郊にあるロンドック工業団地に工場用地を取得した。土地面積は約10万平方m。血液バッグや成分採血キットを2015年夏をめどに生産する。(10面)



三菱レイヨンが運転管理事業に乗り出す中国の染色工業園区の排水処理・再利用設備

IMF世界経済見通しの成長率予想		
	12年	13年
世界全体	3.3(3.5)	3.6(3.9)
米 国	2.2(2.0)	2.1(2.3)
日 本	2.2(2.4)	1.2(1.5)
ユーロ圏	▼0.4(▼0.3)	0.2(0.7)
ドイツ	0.9(1.0)	0.9(1.4)
フランス	0.1(0.3)	0.4(0.8)
イタリア	▼2.3(▼1.9)	▼0.7(▼0.3)
スペイン	▼1.5(▼1.5)	▼1.3(▼0.6)
英 国	▼0.4(0.2)	1.1(1.4)
カナダ	1.9(2.1)	2.0(2.2)
中 国	7.8(8.0)	8.2(8.5)
インド	4.9(6.1)	6.0(6.5)
ロシア	3.7(4.0)	3.8(3.9)
ブラジル	1.5(2.5)	4.0(4.6)
(注) 実質GDP伸び率、単位%。カッコ内は12年7月時点の予想		

中国、13年ぶりに8%割れへ
今年成長7.8%に下方修正
IMFが世界経済見通し。2012年の中国の実質GDP伸び率は7.8%に下方修正され、13年ぶりに通年で8%を割る見通し。なお、世界全体では3.3%に減速すると警告した。(2面)

日中軌轢 - 苦悩する中小企業
事業の見直し迫られる
日中政府の軌轢のはざま、中国に進出した日本企業が対応に苦慮している。不買運動で日本製品に影響が出始めており、中小企業には事業の見直しを迫られる例も少なくない。(深層断面＝26面)

10月11日(木)
上海の楽器展に出展
中小28社・団体ノ尖閣問題乗り越え
中国で「メード・イン・ジャパン」の楽器をアピール。国内の中小楽器メーカーなど28社・団体が、上海での楽器関連の国際展示会「music CHINA」に尖閣問題を乗り越えて出展。(1面)

日商會頭「中小にも大打撃」
日中問題ノ大企業の減産直撃
日本商工会議所の岡村正会頭は「大企業の減産で、中小企業にも大きな影響が出てくる」との懸念を表明した。自動車メーカーなどが中国での事業展開が厳しさを増していることについて。(3面)

鋳物、アジアで最適生産
台湾2社と連携
木下製作所は、アジアで鋳物製品の最適生産に乗り出す。台湾の鋳物メーカー2社と連携し、日本、台湾、ベトナムの各拠点で製品や納入場所に応じた生産体制を構築する。(25面)

フィリピン4割増、年5万台
三菱自ノ車種拡大も視野
三菱自動車は、2015年度にフィリピンの新車販売台数を、4割増の年5万台に。世界戦略小型車「ミラージュ」を市場投入、車両組立工場の余剰生産能力を活用し現地生産の車種拡大も。(5面)

P O S、アジアで1万台
富士通フロンテック
富士通フロンテックは、アジアでPOSを約1700台増の1万500台を2012年度に販売する。中国向けで2000台の販売を計画し、現地のコンビニエンスストア向けなどを中心に提案を進める。(8面)

10月16日(火)
ベトナムで大規模農場コンサル
サナースノ堆肥化を指導
サナースは、ベトナムで大規模農場での堆肥化コンサル事業に乗り出す。同国の乳業大手T Hミルクから堆肥化に必要な機械の導入から運用指導までを一括受注した。約1億2000万円。(8面)

半導体材料、韓国で生産
富士フィルムノB C P強化
富士フィルムは、韓国で半導体向け材料の商業生産を2013年夏から始める。C M Pスラリーを皮切りに、現像液やクレーナー、エッチング液も順次生産する。生産分散化でB C P強化。(11面)

全日空がミャンマー直行便
飛行機大型化で需要対応へ
全日本空輸が、ミャンマー直行便の成田ヤンゴン線を12年ぶりに就航。大韓航空やタイ国際航空も新規増便で攻勢。全日空は飛行機の大型化を進め需要を取り込む考えだ。(17面)

10月17日(水)
T P P、早期交渉入り
韓国先行を懸念ノ同友会代表幹事
経済同友会の長谷川閑史代表幹事は、定例会見で「韓国がT P Pについても参加できるとも聞いている。先に協議入りされると好ましくない」と、わが国の早期交渉入りを改めて要望した。(3面)

日系自動車 - インドに活路
中国不振に対応
日系自動車大手がインド市場で攻勢。日産自動車は10車種の新型車を、ホンダはディーゼル搭載「プリオ」を投入する。トヨタ自動車はベンガルール近郊に第3工場を検討。中国不振に対応。(5面)

10月12日(金)
中国は対話の機会逸している
ラガルドIMF専務理事
IMFのラガルド専務理事は会見で、中国の中央銀行総裁らがIMF・世銀総会の欠席に「IMFは対話の場を提供。総会では優れた議論が行われており、せっかくの機会を見逃している。」(2面)

中国のS A P増産見送り
日本触媒ノ中国減速・需要低迷
日本触媒は、中国における高吸水性樹脂(S A P)の生産能力増強の計画を、凍結を含めて再検討。2014年7月に増強する計画だったが、中国の経済減速や今後の需要低迷を考慮した。(10面)

鶴田電機、中国・東南ア開拓
装置・機械向けトランス
鶴田電機は、装置・機械メーカーからのトランスの受注・販路開拓に乗り出す。海外は香港とシンガポールで現地代理店と提携し、東南アジアや中国での販路を開拓する。(21面)

10月16日(火)
丸紅、穀物部門を米社に統合も
中国輸出効率化
丸紅は、穀物部門を米穀物大手のガビロンに移管・統合する方向で検討に入った。ガビロンを約2860億円で買収で6月基本合意。中国向け輸出を効率化するのが狙い。(1面)

中国の成長鈍化、色濃く
9月の卸売物価7カ月連続マイナス
中国経済の成長がさらに鈍化する懸念が強まっている。9月の卸売物価は3.6%低下、7カ月連続のマイナス。7-9月期GDPも減速を裏づける数値の予測。生産低迷が長引いている。(2面)

中国新車販売、2カ月で正常化
客足は改善ノ日産副社長
日産自動車の西川廣人副社長は、落ち込んだ中国新車販売について「今後、2カ月ぐらいで正常化してくるのではない」。また「客足は日々改善。回復のポイントはスピードだ」。(3面)

10月17日(水)
曙ブレーキ、減産を継続
フル稼働の50%など
曙ブレーキ工業は、デモによる自動車メーカーの生産調整に伴い、中国でプレ

シンガポールにアジア事業拠点
3 Dマトリックスノペプチド医療品
スリー・ディー・マトリックスは、生体内でゲル化する特殊なペプチドを用いた医療製品を事業化するため、10月下旬にアジア地域の事業拠点となる子会社をシンガポールに設立する。(13面)

ファミマ、インドネシア1号店
ジャカルタ郊外ノ500店体制
ファミリーマートは、インドネシア1号店をジャカルタ市郊外に16日開いた。インドネシア消費財製造大手Wingsとエリアフランチャイズ契約を結び進出5年で500店体制を目指す。(16面)

10月18日(木)
タイで熱処理能力を倍増
東研サーモノ自動車部品
東研サーモテックは、自動車部品などの熱処理加工を受託するタイ生産子会社の北工場を拡張し、熱処理能力を今夏比で倍増する。既存車を増築、来年初に4棟目の新棟を稼働。(5面)

A & D、東南アに新工場
30億円投資ノ将来は主力工場に
エー・アンド・デイは、3-5年以内に東南アジアに新工場を設ける。総投資額は20億、30億円。現在、量産品は中国の深圳工場で生産。将来は中国工場を縮小し東南アジアを主力工場に。(7面)

N T Tコム、ミャンマー事務所
進出企業のICT支援
N T Tコミュニケーションズは、ミャンマーのヤンゴン市にN T Tコムタイの支店として新事務所を開設した。多国籍企業の情報通信技術(I C T)システムをサポートする。(9面)

表面処理剤、インドネシア生産
受託加工設備もノ貴和化学薬品
貴和化学薬品は、インドネシアで金属表面処理剤の製造と同剤を用いた表面処理受託加工に2014年中に乗り出す。金属表面処理剤の製造と受託加工設備を併せ持つ拠点を設置する。(11面)

シンガポールで日本株売買助言
S M B C日興証券
S M B C日興証券は、シンガポールの100%子会社を通じて、現地で日本株の売買やM & Aに関する助言業務を始めた。同社はシンガポールをA S E A N地域のハブと位置付けている。(17面)

日本の中小21社、韓国から調達
ソウルで商談会
日本の中小企業が韓国で部品や資材などの調達に動きだしている。日本企業21

ーキ部品の減産を継続。日産自動車向けを中心にディスクブレーキなどを供給する会社がフル稼働の50%など。(5面)

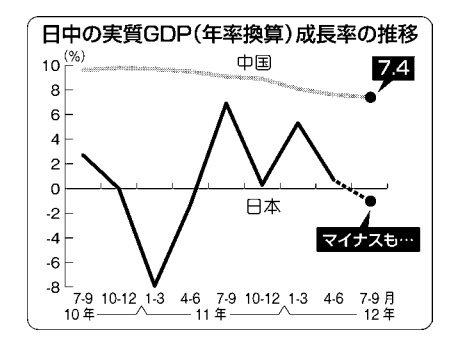
10月18日(木)
中国のT V、日本勢2割切る
反日ムード鮮明
国慶節連休の中国テレビ販売で、日本メーカー8ブランドの合計シェアが、前年同期の30%から18%に急低下した。反日ムードの影響が鮮明に。中国の調査会社のデータによる。(時事＝2面)

中国人の対米観、大幅悪化
好意的でない137% 48%
中国人の対米観が過去2年間で著しく悪化した。米調査機関の世論調査。米国に好意的な中国人は前回2010年の58%から43%へ下落。好意的でない回答者が37%から48%へと増えた。(時事＝2面)

センコー、蘇州に物流センター
日系向けノ将来は全土へ配送
センコーは、中国最大の物流センター「蘇州物流センター」を江蘇省蘇州市に開設、営業を始めた。同市の日系企業向け。将来は顧客を拡大し、中国国内での配送業務なども展開する方針。(15面)

10月19日(金)
中国G D P、7期連続減
7-9月期7.4%増
中国の2012年7-9月期のGDPは、実質で前年同期比7.4%増と、7期連続で減速した。前期比では2.2%増。通年で13年ぶりに8%を割る可能性。国家統計局が発表した。(時事＝2面)

日中減速、歯止めからず
日本もGDPマイナスの観測
中国と日本の経済減速が鮮明になってきた。中国7-9月期実質GDPは7期連続減。一方、日本も前期比でマイナスを避けられないとの観測。日中経済は正念場を迎えている。(2面)



中部支部でアジア展開
工具再研削ノ切削フォーラム21
切削フォーラム21は、アジアでの工具再研削事業の開始へ調査。中部支部を中心にタイやベトナム、インドネシアなどの日系製造業のニーズや現地再研削業者の技術レベルを把握する。(29面)

10月19日(金)
J E S C O、ミャンマーに進出
建物設備の設計ノソフト開発
J E S C Oホールディングスは、ミャンマーに進出する。同国政府がヤンゴン市に整備中の拠点に2013年3月にも入居し、建物設備の設計やソフトウエア開発業務に乗り出す。(3面)

トヨタ、タイでディーゼルの増産
年61万基ノ400億円投資新ライン
トヨタ自動車は、タイでディーゼルエンジンの生産能力を増強する。鋳造から組み立てまで一貫で設備を増強。約400億円投資。新ラインの生産能力は年間約29万基。タイで合計約61万基。(5面)

ベトナムに熱処理工場
山一ハガネノ日系向け来春稼働
山一ハガネは、ベトナム・ホーチミン市郊外で熱処理や特殊鋼販売を2013年春に始める。日系自動車関連の金型部品メーカーなどを顧客に取り込む。将来は精密部品加工なども手がける。(8面)

L E D照明、タイに第3工場
遠藤照明ノ月産25万台
遠藤照明は、タイで3拠点目となるL E D照明器具の工場を建設する。約6割増の月産25万台以上に。2013年7月稼働。日本での節電意識の高まりで需要が急増。供給不足の懸念。(9面)

タイで合成ゴム原料生産
年産2万トンノ三洋化成が共同調査
三洋化成工業は、J X日鉱石エネギーとタイの石油化学事業会社S C Gケミカルと、合成ゴム原料「E N B」の製造販売の事業化検討で契約。ラヨーン県に年産2万トンの製造装置。(11面)

関西の水処理、ベトナムに照準
工業団地関係者招クノ近畿経産局
近畿経済産業局は、水処理技術で関西企業のベトナム深耕を支援する。11月末にベトナムの政府官僚や工業団地運営・管理者らを関西へ招く。工業団地の排水処理システムの受注を狙う。(27面)

物的被害100億円
反日デモノ全銀協会長
全国銀行協会の佐藤康博会長(みずほF G社長)は、尖閣諸島問題による日本経済への影響について「反日デモによる(日本企業の)物的被害は100億円程度ではないか」と見通しを述べた。(2面)

N C装置の世界シェア25%
三菱電機ノ常熱・新工場で一貫生産
三菱電機は、N C装置の世界シェア25%を目指す。常熟市で12月に稼働する新工場で、小型工作機械向けにミドルエンドのN C装置を一貫生産する。納期短縮、品質向上につなげる。(7面)

北京でノイズ対策提案体制
シールドルームノ村田製作所
村田製作所は、北京で電子機器のノイズ対策提案体制を整えた。現地営業拠点にシールドルームと近傍磁界分布測定装置を設置。設計の初期段階から電磁妨害対策を検証・サポートする。(9面)

TELOP

バッテリーのセンサー中国生産
古河電工ノ年100万台(10日6面)
蘇州で中国子会社の開所式
平和発條(11日25面)
三菱電機、サービスを強化
産業メカトロニクス製品(12日6面)
L E D照明企業と資本提携協議
シーシーエス(12日8面)
香港に海外統括会社
サガミチェーン(19日3面)
ファミマ、中国1000店
現地の最大店舗網(19日15面)
中国貿易支援ローン
池田泉州銀行(19日17面)
ひと
自分たちの害になる
「中国で一部商談が保留になっている」と浮かない表情なのは、富士フイルム会長兼C E Oの古森重隆さん。中国工場がデモ被害を受けた。「中国工場は雇用などで中国のためにもなっている。」(日系工場の襲撃は)自分たちの害になる」と冷静な行動を求める。(12日＝8面)

TELOP

すい臓がん薬、台湾社に製造権
ナノキャリア(8日8面)
新興国の販売会社を統合
J V Cケンウッド(10日9面)
タイの銀行に信用保証状
常陽銀行(10日24面)
ベトナムで家庭向け消火器
ヤマトプロテック(11日7面)
アジア7拠点もシスコ認定
ネットマークス(11日10面)
成田 ソウル線就航
エアアジア(11日15面)
エアアジアが成田 釜山線
11月28日就航(12日13面)
印のインフラ進出支援で新会社
サン・アンド・サンズなど(16日3面)
東レ、インドネシアに製造拠点
樹脂コンパウンド年6000トン(16日11面)
シンガポール支店を開設
アストモスエネノL P G(16日15面)
インド工場、生産回復進む
スズキ(17日5面)
インドネシアの地熱発電に出資
三菱商事(18日2面)
新田ゼラチン、ベトナムに合併
ゼリーなどの食品素材(18日3面)
西川ゴム、インドネシアに合併
車用ゴム・樹脂製品を量産(18日5面)
カンボジアで多機能素材
タイカノ靴の衝撃吸収材(18日11面)
ニプロ、パキスタンに事務所
糖尿病関連の医療機器(19日3面)
自動車保険コールセンター開所式
東京海上ノジャカルタ(時事＝19日17面)

ひと
こういう時期だからこそ就航
成田 仁川線を就航する格安航空会社のエアアジア・ジャパン。社長の岩井和行さんは日韓関係が冷え込む中で「こういう時期だからこそあえて就航させて交流を深める」と意欲。「国内線と国際線でリスクを最小化」。初の国際線はリスクを乗り越えられるか。(17日＝16面)

海外が他人事でなくなる
「社員が現地に行くと自社の事業展開を他人事ではないと感じるようになる」と効果を説明するのは、ボールベアなどを手がける井口機工製作所事務所の井口威佐美さん。出張を通じて海外体験を進める。韓国には毎月、3人ずつ出張、京畿道の工場で情報交換。(19日＝8面)